



先日は、園公開でのご参観をどうもありがとうございました。いつもとは違う雰囲気や、緊張する様子もありましたが、自分たちが毎日生活している場所で、大好きな保護者の方が一緒に過ごして下さったことは、子どもたちにとってとても嬉しい経験になったようです。安心、自信にもつながったことでしょう。温かい笑顔や優しい声でご参観下さり、ご理解やご協力をいただき、本当にありがとうございました。



また、11月末の研究保育では、年少組の子どもたちの様子を、全職員で見合いながら、より夢中になって遊べるように、教師の援助や環境構成の仕方を話し合いました。年少組の子どもたちにとって、『夢中になる』とは、どんな姿なのかな」と職員みんなで考えたときに、「黙々と取り組んでいる」「何かになりきって遊んでいる」「繰り返し楽しんでいる」「見立てて遊ぶ」などの姿が挙げられました。

11月は、戸外でも室内でも、遊びの様々な場面の中で、そのような姿がたくさん見られました。その様子を少しでも保護者の皆様にお伝えしたいと考え、今回のお便りを作成しました。

今学期、残り3週間となりましたが、一日一日、丁寧に過ごす中で、子どもたちの夢中になって遊ぶ姿や、明るい笑顔がたくさん見られるよう、努めて参ります。



お砂場は わくわくがいっぱい♪



小春日和を感じる気候が続き、お砂場でじっくりと遊ぶことを楽しんでいる子どもたち。1学期から、楽しんできた砂遊びも、今では、色々な種類の遊具を使って、自分の使いたい物を選び、したい遊びを十分に楽しんでいます。

- トレーやお盆に、砂やドングリをたくさん載せたお皿やカップを載せ、ごちそうに見立てる子
(パンケーキ、ケーキ、スープ、コーヒー、カレー、うどん、ラーメン、かき氷、どんぐりスープなど)
- 山を作ってシャベルやドングリを埋めて遊ぶ子
- 大きな穴を作って、中に入って遊ぶ子
- ふるいで、砂と石を分ける子
- ふるった石や落ち葉をごちそうのトッピングに見立てて遊ぶ子
- 作ったごちそうを教師に見せ、一緒に食べたり、食べてもらったりするを楽しむ子
- 「じょうご」という遊具に興味をもち、砂が落ちる様子をじっくりと見ている子

ごちそうがいっぱい♪



子どもたちは、このようにそれぞれのしたいことに、没頭し、夢中になって遊んでいます。

同じ場で、同じ学級や学年の友達と過ごすことも心地良く感じられる空間になっているようで、友達の声や教師の声も聞きながら、自分の遊びに取り入れる様子も見られます。

遊びの楽しさと同時に、同じ場で遊ぶ友達と一緒に過ごす楽しさを感じたり、つながりを感じたりできるように、見守り援助していきます。



小さい秋 み~つけた♡



遠足で、ドングリ拾いをしたバッグを利用し、秋探しを楽しんでいます。ひめりんご、赤い「ソヨゴ」という実、ぐみの実、色々な形や色の落ち葉を見つけてはバッグに入れたり、保育室に飾ったりしています。

段ボールに落ち葉を詰めて、落ち葉プールを作ったり、画用紙に描いた木の周りに貼ったりすることも楽しみました。3年間を通して、明石幼稚園の自然の環境にたくさんかかわってほしいな、と願っています。

また、登園時に、落ち葉や銀杏の葉で作った蝶々、サザンカの花、ドングリを見つけて、教師や友達に見せてくれる子もいました。保護者の方と、秋を感じて楽しく登園しているのだな、と嬉しくなりました。

元気いっぱい「はっぱばらり」の歌も楽しく歌っています。

秋の自然に親しんだ子どもたち。これからやってくる冬の季節でも、冬の自然の不思議さや面白さを感じたり、気付いたりしてほしいと願っています。

ここは落ち葉がたくさんあるよ!



お気に入りののはっぱ



落ち葉プール♪



見てみて♪こんなに登れたよ♪



2学期は、りす組の子どもたちにとって、興味や遊びの場が大きく広がる時期となりました。

11月、園庭では、年中・年長組の子どもたちに刺激を受けて、登り棒や雲梯にも興味をもつようになりました。特に登り棒は、「やってみたい!」と一人が裸足になると、「僕も!」「私も♪」と周りにいた子どもたちも次々と、裸足になってどんどん取り組んでいます。

2本の棒を使い、手と足をいっぱい広げて登っていく子、一本の棒にしがみつき上に登っていく子といますが、周りの様子を見ながら、自分なりに試しているようです。「先生、見て♪」「こんなに登れたよ!」「降りるの怖い〜」と色々な声が聞こえてきます。

登り棒で、上に登るためには、腕の力、手や足でしっかりと棒をつかむこと、足で体を支えながら上に体を伸ばすことなど、色々な動きが必要です。年少組の子どもたちなりに、大きい組の子どもたちの様子を観察しながら、どうしたら登れるのか考えたり、真似をしてみたりしています。一人一人の様子を受け止めながら、「やってみたい」という気持ちを引き出し、今後も体を使って遊ぶ楽しさを十分に感じられるようにしていきます。

また、登り棒以外にも、色々な形や大きさのボールやフラフープ、縄、雲梯、鉄棒など様々な運動遊具や場に興味が広がっています。

今後も、担任として、子どもたちの興味が広がった時をチャンスと捉え、遊びの時間や場を保障し、存分に取り組めるようにしていきます。

室内遊びでははしごに挑戦♪
高くても怖くないよ♪



二本を使って・・・♪



しっかりつかまってるよ♪



あかしパーク 年長組さん ありがとう♡



12月1日、年長組さんが「あかしパーク」に招待してくれました。9月にも「きりんぐみばーく」と「ぞうぐみランド」に招待してもらい、とても楽しかったことを覚えていて、年長組が遊戯室やみんなの部屋で準備を進めている段階から、「何か面白そうなことをしている!」「行ってみたい」と期待を膨らませていました。

当日は、パスポートを年長組さんが肩に掛けてくれると、さらに嬉しそうで、しばらくじっとりと、自分のパスポートを眺めていました。

あかしパークに着くと、どの子ども目も輝かせていました。きっと「わくわく♪」がいっぱいの世界だったのでしょう。

年長組が作ったバスや生き物、虫、キノコやカキの実、イルカ、滑り台、迷路、トンネル、水の生き物など、一つ一つに驚いていました。「ここに並んでね」「ここでキノコを収穫できるよ」「これはダンゴムシだよ」「イルカショーが始まりますよ♪」「スタンプを押しますよ」など、それぞれのコーナーを案内してくれたり、優しくしてくれたりする年長組の話をよく聞き、動いていました。最後にお土産ももらい、大喜びの子どもたち。

今後もこのような異年齢の交流を大切にしていきます。憧れの気持ちをさらに強くし、自分たちが大きくなったときにも、優しくしてあげようとする気持ちにもつながってほしい、と願っています。



こみちたんけん♪

動くイーグル!

虫を発見♪



大型バス!
動くバスです♪



キノコ狩り♪



スタンプです♪



青になったら進みます!

パスポートを身に付けて♪
どこにいこうかな?

狩ったカキはここに
いれてね♪



いるかショーによるこそ!



最後にお土産をもらったよ♪

